

2022年町田市長選挙立候補者への公開質問状回答結果一覧

(町田の図書館活動をすすめる会が把握した立候補者に書状及びメールにて出した質問状への14日迄に得た回答のまとめ)

候補者名	清原 おさむ	石阪丈一	よしわら修
依頼(送付・送信)日	2022.2.1	2022.2.1	2022.2.1
回答日／受理日	2022.2.1／2022.2.4	2022.2.6／2022.2.8	2022.2. ○／2022.2.12(FAX)
【問1】“まちづくり”課題の重要度(5位まで)			
①医療・保険体制整備	第1位	第1位	第1位
②省エネ・創エネ社会実現		第2位	
③賑わい創出	第2位		
④教育・文化の充実		第3位	第2位
⑤自然環境の保全			第4位
⑥子ども・障害者・高齢者への福祉援助			第3位
⑦ジェンダー平等社会の実現		第4位	
⑧若者への就学就労支援		第5位	第5位
⑨その他			
コメント:	夕張市のように経済が成り立たないと、税収だけでなく都市の機能が麻痺してしまいます。前提として、このコロナ禍でわかったように、市民の命と健康をまず守ることが大切です。その上で経済を支えないと、それ以外の設問(②④⑤⑥⑦⑧)は維持できないと考えています。それ以外の設問に関しては、順位は無いと考えています。	多様性を認める社会、持続可能な地域づくりにとって重要。	人口減少社会の中で、町田市が持続可能な発展をするためには、中心市街地やその他駅周辺にビジネス拠点を設け、他市からも仕事に来てもらうような環境をつくり、昼間人口を増やさなければならないと考えています。そのことが、常に若い人が集える街となっていくはずですが、市民の命や健康を第一に考えるのは当然ですが、今後のまちづくりを考えたとき、子育て世代が町田に住みたいと思える環境づくりが大切です。そのためには子供の福祉を充実させるとともに、教育や居場所づくりなどの施策を充実しなければならぬと考えます。
【問2】学校図書館			
①図書購入費	○		○
②教員増			○
③図書指導員の待遇改善			
④学校司書の公募、配置	○	○	
⑤ICT環境の整備	○	○	○
⑥その他			
(欄外への記述)			

候補者名	清原 おさむ	石阪丈一	よしわら修
【問3】市立図書館について			
(1)町田の図書館のあり方			
①いま以上の充実は不要			○
②館数を増やすなど充実が必要			
③指定管理など民間の活用を		○	
④市の直営であるべき			
⑤資料提供よりイベント等賑わい創出を		○	
⑥ベストセラーなどではなく高価本を			
⑦あらゆる資料・情報を無料で	○		○
⑧図書館員は司書を採用・配置	○		○
⑨司書は不要			
⑩その他	○地域特性の変化(人口増など)などに対応した町田市全体の図書館計画の必要があると考えています。		
(欄外への記述)			
(2)図書購入費			
①大幅な増額			○
②多摩地域各市の平均まで増額			
③当面低くても止む無し		○	
④さらに圧縮の必要			
⑤その他	○基本的には増額すべきだと考えています。しっかりとした図書館計画を策定してその中で議論したいと考えています。		
(3)「アクションプラン」			
①「アクションプラン」を推進		○	
②実施済み以外は見直し			○
③新たな図書館振興プラン	○		
④その他			
(欄外への記述)			

2022年町田市長選挙立候補者への公開質問状回答結果一覧

(町田の図書館活動をすすめる会が把握した立候補者に書状及びメールにて出した質問状への14日迄に得た回答のまとめ)

候補者名	おくざわ高広	黒川あつひこ (つばさの党事務局長 ・落合均氏名での回答)	宮井ひろなお
依頼(送付・送信)日	2022.2.1	2022.2.13	2022.2.13
回答日/受理日	2022.2.8/2022.2.13(FAX)	2022.2.14 (メール)	2022.2.14 (メール)
【問1】“まちづくり”課題の重要度(5位まで)			
①医療・保険体制整備			第1位
②省エネ・創エネ社会実現	第4位		
③賑わい創出	第3位	第3位	
④教育・文化の充実	第1位		第4位
⑤自然環境の保全		第2位	
⑥子ども・障害者・高齢者への福祉援助			第2位
⑦ジェンダー平等社会の実現	第5位		
⑧若者への就学就労支援	第2位	第1位	第3位
⑨その他			第5位(監視社会からの脱却)
コメント:	⑥の福祉は町田市の使命であるが、その充実のためには④や⑧で子育て世代が住みたいと思えるまちづくりをし、③や②によって市としての財源を産み出していくことが不可欠。これらの「安心と挑戦と成長」を循環させていく。⑦は日本があまりにも遅れており、早くジェンダー平等を当たり前の日本にしたい。	モノレールをやめて若者への投資や芹が谷公園の保全、駅前のパチンコ屋禁止など街の環境浄化を訴えています。	国や自治体は国民の命を軽視しています。コロナ対策では「みなし療養」「自宅療養」として医療崩壊を招いています。大阪府の保健所の数は、20年前は61カ所だったのが今は18カ所。凄まじい減り方で270万人を抱える大阪府は、たった1つの保健所しかありません。それを報道しないマスコミも国に忖度しています。私の監視事件を隠ぺいできているので、国やマスコミに「ばれなきゃいい」という風潮が原因でしょう。
【問2】学校図書館			
①図書購入費			○
②教員増	○		
③図書指導員の待遇改善			
④学校司書の公募、配置	○		○
⑤ICT環境の整備	○	○	○
⑥その他			
(欄外への記述)	* 学校図書館や学校司書が、子供たちの探求学習により深く関わることのできるしくみを整えたい。	紙の品だけでなく情報源の一つとして本を位置付けます。	

候補者名	おくざわ高広	黒川あつひこ (つばさの党事務局長 ・落合均氏名での回答)	宮井ひろなお
【問3】市立図書館について			
(1)町田の図書館のあり方			
①いま以上の充実は不要		○	
②館数を増やすなど充実が必要			
③指定管理など民間の活用を	△		
④市の直営であるべき	△	○	○
⑤資料提供よりイベント等賑わい創出を	○		
⑥ベストセラーなどではなく高価本を			
⑦あらゆる資料・情報を無料で			
⑧図書館員は司書を採用・配置	△		○
⑨司書は不要			
⑩その他			
(欄外への記述)	△:いかに魅力的な場にするか、そのためにはどの手法が最適かつ実現可能か、議論を深めたい。		
(2)図書購入費			
①大幅な増額			
②多摩地域各市の平均まで増額	○		○
③当面低くても止む無し		○	
④さらに圧縮の必要			
⑤その他			
(3)「アクションプラン」			
①「アクションプラン」を推進			
②実施済み以外は見直し	○	○	
③新たな図書館振興プラン			
④その他			○③どおりで、これからも図書館の廃止、民営化は止めるべきと思います。
(欄外への記述)		非営利でも必要なことを自治体としてやるべきと考えます。民間はそれ以外を営利で行えばいい。	